

(21) 消防施設

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、市民の生命・財産を守るため、消防本部・石岡消防署、八郷消防署のほか、1ヶ所の分署、2ヶ所の出張所、44ヶ所の分団詰所・車庫等の消防施設を設置しています。

消防施設は全て単独施設です。

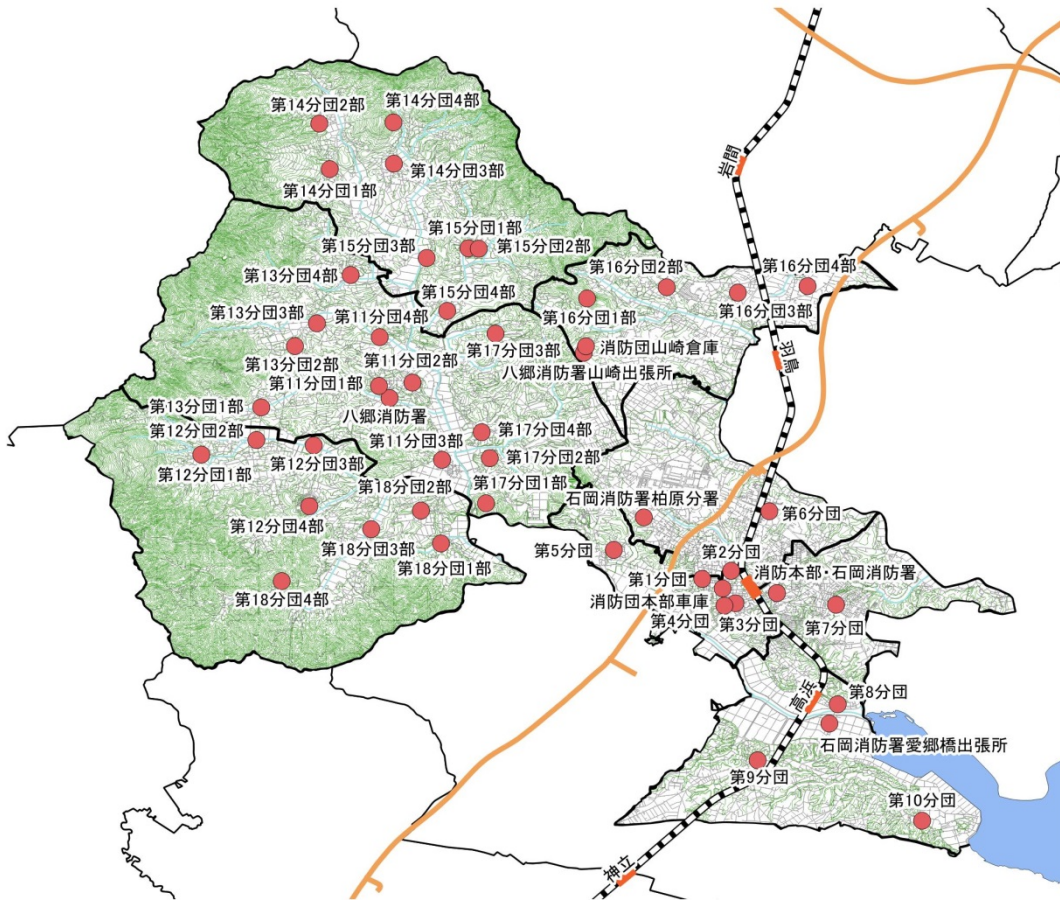
表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	備考
1 消防本部・石岡消防署	石岡一丁目2番地18	2,476.00	平成14	RC造	
2 石岡消防署柏原分署	鹿の子四丁目5番3号	889.00	平成3	S造	
3 石岡消防署愛郷橋出張所	高浜1335番地	237.00	昭和53	S造	
4 八郷消防署	柿岡291番地	492.00	昭和52	RC造	
5 八郷消防署山崎出張所	山崎906番地35	270.00	平成16	S造	
6 消防団本部車庫	府中二丁目726番地1	19.30	昭和60	S造	
7 第1分団	若宮一丁目3番43号	44.52	昭和56	S造	
8 第2分団	府中三丁目8番10号	47.62	昭和57	S造	
9 第3分団	国府五丁目2番17号	48.12	昭和63	S造	
10 第4分団	国府六丁目3番1号	48.12	昭和60	S造	
11 第5分団	染谷960番地4	80.00	平成9	S造	
12 第6分団	杉並四丁目5番23号	88.00	平成12	S造	
13 第7分団	東光台二丁目2番18号	76.12	昭和60	S造	
14 第8分団	高浜797番地	66.11	平成4	S造	
15 第9分団	三村7626番地1	80.00	平成7	S造	
16 第10分団	井関38番地1	80.00	平成7	S造	
17 第11分団1部	柿岡1857番地	30.90	昭和45	CB造	車庫のみ
18 第11分団2部	柿岡2009番地3	88.81	平成19	S造	
19 第11分団3部	片野642番地	22.94	昭和46	CB造	車庫のみ
20 第11分団4部	柿岡4425番地2	23.82	昭和48	CB造	車庫のみ
21 第12分団1部	小幡3102番地1	39.57	昭和48	CB造	
22 第12分団2部	小幡3280番地1	86.04	平成17	S造	
23 第12分団3部	須釜1372番地1	21.94	昭和46	CB造	車庫のみ
24 第12分団4部	下青柳929番地2	23.36	昭和49	CB造	車庫のみ

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	備考
25 第13分団1部	吉生748番地	23.28	昭和43	CB造	車庫のみ
26 第13分団2部	上曾1195番地	23.23	昭和62	CB造	車庫のみ
27 第13分団3部	小屋道路敷内	50.36	昭和55	CB造	
28 第13分団4部	鯨岡415番地1	57.96	平成17	S造	
29 第14分団1部	大塚3032番地	90.93	平成10	S造	
30 第14分団2部	大增3606番地	105.01	平成7	S造	
31 第14分団3部	小見818番地1	48.50	昭和53	CB造	
32 第14分団4部	太田838番地5	43.06	昭和55	CB造	
33 第15分団1部	瓦谷449番地	90.93	平成10	S造	
34 第15分団2部	瓦谷1386番地2	47.84	昭和51	CB造	
35 第15分団3部	宇治会308番地3	50.18	昭和51	CB造	
36 第15分団4部	野田908番地3	46.25	昭和46	CB造	
37 第16分団1部	山崎1694番地1	90.93	平成10	S造	
38 第16分団2部	真家1143番地1	34.65	昭和42	CB造	
39 第16分団3部	東成井904番地	54.81	昭和47	CB造	
40 第16分団4部	東成井1978番地8	60.37	昭和56	CB造	
41 第17分団1部	根小屋1666番地	23.48	昭和52	CB造	車庫のみ
42 第17分団2部	下林496番地12	46.90	昭和46	CB造	
43 第17分団3部	片岡826番地3	23.52	昭和50	CB造	
44 第17分団4部	下林857番地	24.34	昭和50	CB造	車庫のみ
45 第18分団1部	半田320番地2	48.80	昭和54	CB造	
46 第18分団2部	川又1187番地	23.68	昭和55	CB造	車庫のみ
47 第18分団3部	月岡878番地	27.23	昭和55	CB造	車庫のみ
48 第18分団4部	菖蒲沢307番地1	23.40	昭和56	CB造	車庫のみ
49 消防団山崎倉庫	山崎583番地5	91.00	平成7	S造	
合計		6,629.93			

② 配置状況

図 消防施設位置図



2) 実態把握

① 建物状況

■ 消防施設の建物総合評価結果

平成26年度の消防施設のうち、主な5施設の建物状況について評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化			③劣化状況	④バリアフリー対応						⑤環境対応		⑥維持管理 床面積当たり (円/㎡)			
		建築年度	延床面積 (㎡)	耐震診断・耐震改修	築年数	直近の大規模改修	大規模改修または直近の築年数	劣化問診票回答評価	エレベーター※1	車いす用トイレ	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロッック	太陽光発電の導入	自然エネルギー	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費
1	消防本部・石岡消防署	平成14	2,476	不要	13	-	13	△	×	△	○	△	×	×	×	×	×	2,281	943	153
2	石岡消防署 柏原分署	平成3	889	不要	24	-	24	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2,110	551	1,154
3	石岡消防署 愛郷橋出張所	昭和53	237	不要	37	-	37	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2,814	662	0
4	八郷消防署	昭和52	492	未実施	38	-	38	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	4,943	370	215
5	八郷消防署 山崎出張所	平成16	270	不要	11	-	11	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	4,819	674	533

記載例

③ ○:劣化がみられないもの
△:一部に劣化がみられるもの・不明
×:屋根・外壁等の重要部位に劣化がみられるもの

④ ○:実施済
△:一部実施・不明
×:未実施

⑤ ○:実施済
△:一部実施・不明
×:未実施

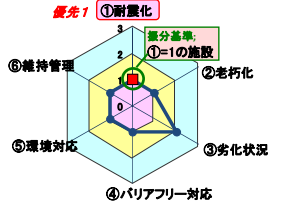
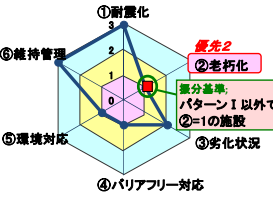
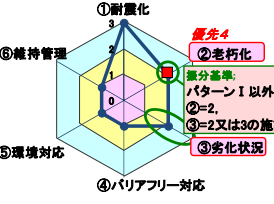
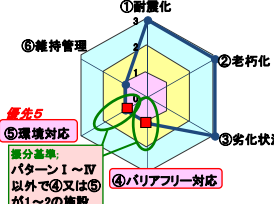
※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等
※2 節水型便器, 高効率照明器具・LED照明, 雨水・中水設備
※①の「不要」には, 耐震診断の結果耐震補強が不要な施設と, 新耐震基準施設のため不要な施設が含まれる。

⑥の凡例 :用途平均値の1.4倍以上のもの

八郷消防署は耐震対策が完了していませんので、早急な対策が必要です。この他に愛郷橋出張所が築30年を超えており、老朽化の進行が懸念されます。但し、劣化問診票調査では重要部位に劣化は報告されていませんので、築20年を超える柏原分署とともに、計画的に老朽化対策を進める必要があります。

また、多くの施設でバリアフリー対応は進んでいませんので、改修の機会等に合わせて対応が進められることが望めます。

なお、八郷消防署、八郷消防署山崎出張所では光熱水費、石岡消防署柏原分署、八郷消防署山崎出張所では各所修繕費が割高になっています。これらの施設では、老朽化により効率が落ちたり繰り返し修繕が生じている設備がないかなどの点検が必要と思われます。

評価	パターンⅠ 耐震性 老朽化	パターンⅡ 老朽化	パターンⅣ 今後 老朽化	パターンⅤ バリアフリー・環境対応
<p>・耐震安全性が確保されていない ・さらに、老朽化が進行している ⇒耐震安全性の確保とともに、老朽化対策も必要な施設</p> 	<p>・老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修などの老朽化対策の検討が必要な施設</p> 	<p>・今後、老朽化が進行する ⇒今後老朽化対策の検討が必要になる施設</p> 	<p>・バリアフリー、環境対応が未完了 ⇒今後、バリアフリーや環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設</p> 	
該当施設	<p>該当施設 建築年度 八郷消防署 昭和52 < 1 施設 ></p>	<p>該当施設 建築年度 石岡消防署愛郷橋出張所 昭和53 < 1 施設 ></p>	<p>該当施設 建築年度 石岡消防署柏原分署 平成3 < 1 施設 ></p>	<p>該当施設 建築年度 消防本部・石岡消防署 平成14 八郷消防署山崎出張所 平成16 < 2 施設 ></p>
コメント	<p>・旧耐震基準の建物で、特に築年も古く、早急な耐震化と老朽化対策が必要です。</p>	<p>・耐震改修工事は完了しているものの、築30年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。</p>	<p>・新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。</p>	<p>・比較的新しい施設ですが、バリアフリーや環境対応が完了していないため、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。</p>
維持管理費が割高な施設	<p>・右記の施設は、維持管理費が用途内の平均値から1.4倍以上となっています。保有設備や整備状況が要因となっている可能性が考えられますので、以下のような点について検証が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各所の老朽化により、修繕頻度が高くなっている ・古く効率の低い設備が使用され続けている ・利用していない施設や設備に多額の管理費がかかっている <p>該当施設 建築年度 石岡消防署柏原分署 平成3 八郷消防署 昭和52 八郷消防署山崎出張所 平成16 < 3 施設 ></p>			

② 運営状況

■ 運営人員

消防施設は全て直営施設です。消防本部・石岡消防署は67人、八郷消防署は27人、分署・出張所は各12人で運営されています。

表 運営状況（平成26年度）

(人)

		消防本部・ 石岡消防署	石岡消防署 柏原分署	石岡消防署 愛郷橋出張所	八郷消防署	八郷消防署 山崎出張所	合計
管理運営形態		直営	直営	直営	直営	直営	
施設維持管理	一般職員	5.0	2.0	2.0	3.0	2.0	14.0
	計	5.0	2.0	2.0	3.0	2.0	14.0
事務・庶務	一般職員	33.5	2.0	2.0	11.0	2.0	50.5
	再任用職員	1.0					1.0
	計	34.5	2.0	2.0	11.0	2.0	51.5
隔日勤務(災害現場対応)	一般職員	27.5	8.0	8.0	13.0	8.0	64.5
	計	27.5	8.0	8.0	13.0	8.0	64.5
合計	一般職員	66.0	12.0	12.0	27.0	12.0	129.0
	再任用職員	1.0					1.0
	合計	67.0	12.0	12.0	27.0	12.0	130.0

■ 運営体制

消防本部・石岡消防署の運営体制は、一般職員34人、再任用職員1人で合計34～35人体制となっています。石岡消防署柏原分署、石岡消防署愛郷橋出張所、八郷消防署山崎出張所はそれぞれ一般職員4人となっています。八郷消防署は一般職員10人となっています。

図 運営体制（平成26年度）

消防本部 石岡消防署	平日(月～金) 土・日曜日・祝日 運営体制 34～35人	9:00	17:00
		8:30	17:30
石岡消防署 柏原分署	平日(月～金) 土・日曜日・祝日 運営体制 4人	9:00	17:00
		8:30	翌8:30
石岡消防署 愛郷橋出張所	平日(月～金) 土・日曜日・祝日 運営体制 4人	9:00	17:00
		8:30	翌8:30
八郷消防署	平日(月～金) 土・日曜日・祝日 運営体制 10人	9:00	17:00
		8:30	翌8:30
八郷消防署 山崎出張所	平日(月～金) 土・日曜日・祝日 運営体制 4人	9:00	17:00
		8:30	翌8:30

③ コスト状況

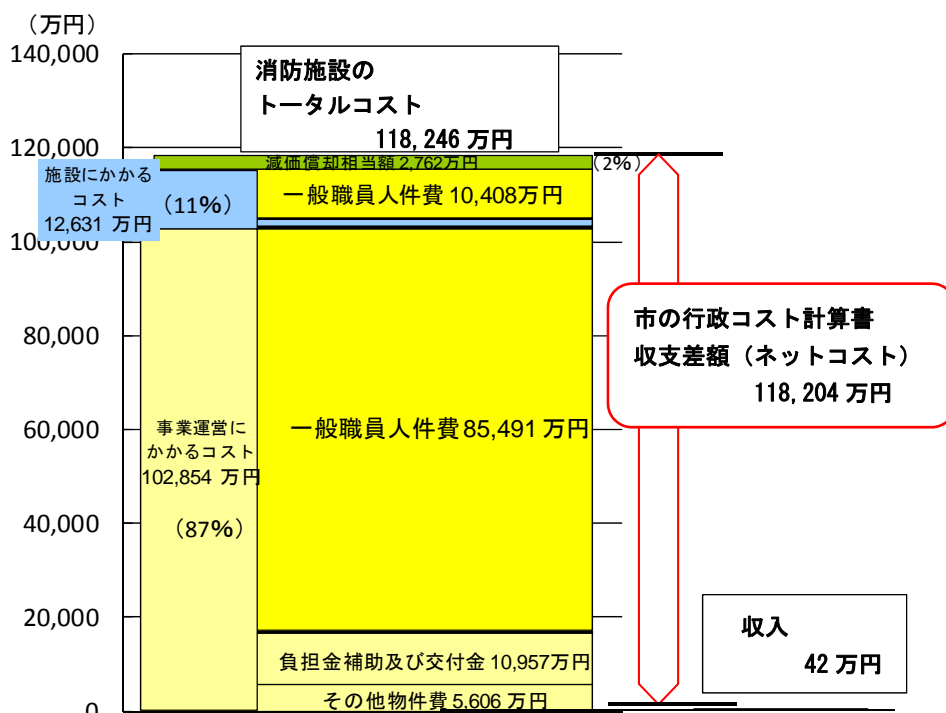
消防施設の年間トータルコストは、11億8,246万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは1億2,631万円(11%)、事業運営にかかるコストは10億2,854万円(87%)、減価償却相当額が2,762万円(2%)となっています。また、人件費が9億6,133万円と全体の約81%を占めています。

表 施設別 市の行政コスト計算書(平成26年度) (千円)

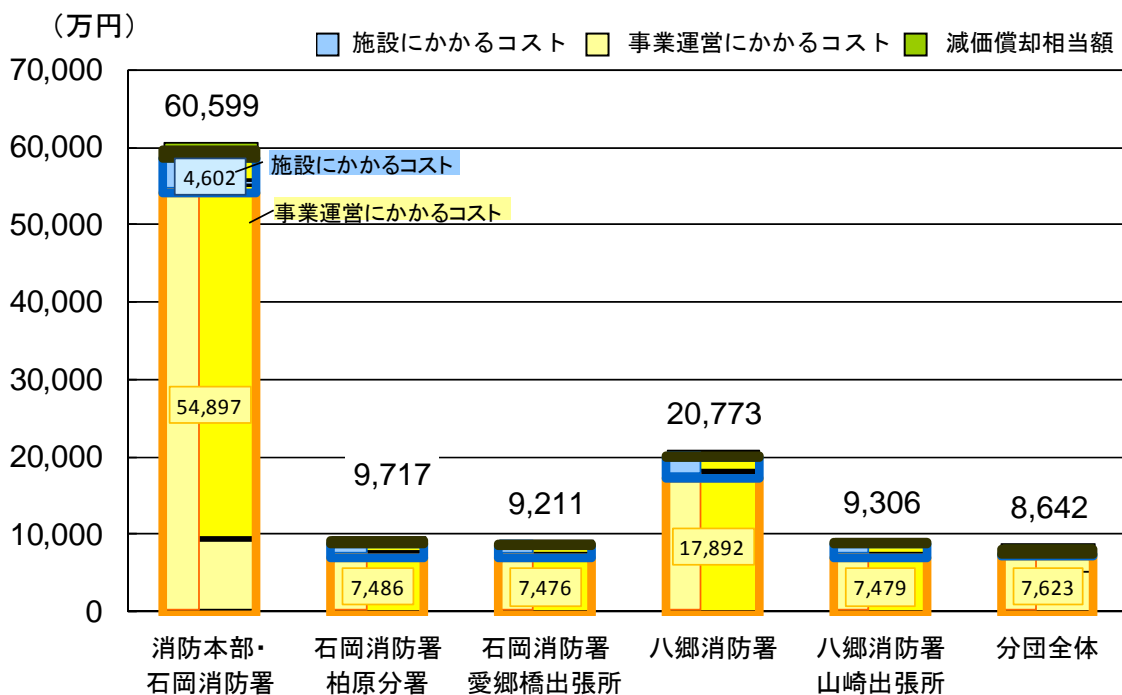
I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		消防本部・石岡消防署	石岡消防署 柏原分署	石岡消防署 愛郷橋出張所	八郷消防署	八郷消防署 山崎出張所	分団全体	合計
施設にかかるコスト	一般職員人件費	37,170	14,868	14,868	22,302	14,868		104,076
	修繕費	379	1,026		106	144	240	1,895
	光熱水費	5,648	1,876	667	2,432	1,301	2,465	14,389
	委託費	2,336	490	157	182	182	58	3,405
	使用料及び賃借料	485	152	152	1,345	152	255	2,541
	施設にかかるコスト	46,018	18,412	15,844	26,367	16,647	3,018	126,306
事業運営にかかるコスト	一般職員人件費	453,474	74,340	74,340	178,416	74,340		854,910
	再任用職員人件費	2,343						2,343
	修繕費	290			16	52	2,216	2,574
	委託費	46					1,638	1,684
	使用料及び賃借料						98	98
	車両・備品購入費						1,296	1,296
	負担金補助及び交付金	90,963					18,608	109,571
	その他物件費	1,854	517	424	489	402	52,378	56,064
事業運営にかかるコスト	548,970	74,857	74,764	178,921	74,794	76,234	1,028,540	
現金収支を伴うコスト 計		594,988	93,269	90,608	205,288	91,441	79,252	1,154,846
【収入の部】								
収入	使用料収入	157	67	64	61	68		417
収入の合計		157	67	64	61	68		417
II. 現金収支を伴わないもの								
コスト	減価償却相当額	10,999	3,900	1,497	2,444	1,614	7,163	27,617
III. 総括								
コストの部合計(トータルコスト)		605,987	97,169	92,105	207,732	93,055	86,415	1,182,463
収支差額(ネットコスト)		605,830	97,102	92,041	207,671	92,987	86,415	1,182,046

図 全施設トータルコスト(平成26年度)



施設別のトータルコストでは、消防本部・石岡消防署が6億599万円で全体の51%を占めています。次いで八郷消防署が2億773万円、分署及び出張所は9千万円台で、その他分団全体が8,642万円となっています。

図 施設別トータルコスト（平成26年度）

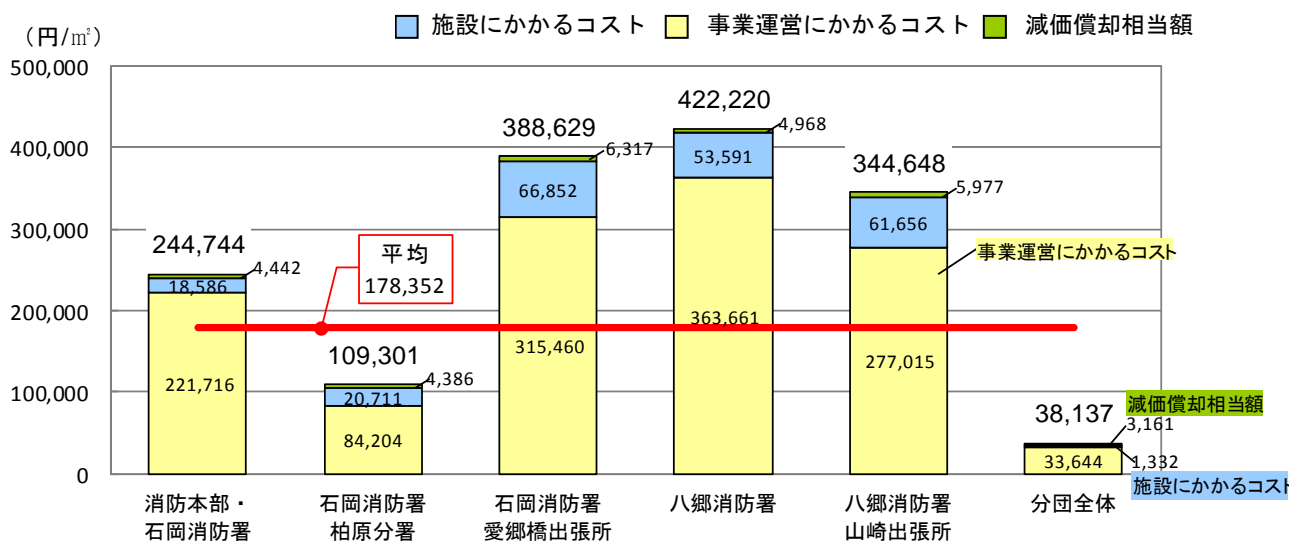


3) 評価・分析

■ 床面積1㎡当たりのコスト

床面積とトータルコストから床面積1㎡当たりにかかるコストを算出すると、八郷消防署が最大で42万2,220円/㎡、消防本部・石岡消防署は24万4,744円/㎡、柏原分署は10万9,301円/㎡、両出張所は30万円台となっています。その他分団全体は3万8,137円/㎡です。全体の平均は17万8,352円/㎡となっています。

図 床面積1㎡当たりのトータルコスト（平成26年度）



4) 今後の検討の視点

■ 施設に関する視点

- 八郷消防署の耐震対策が急がれるほか、およそ半数の施設が築 20 年を超えています。消防施設は災害時に必要な機能が確実に発揮されることが求められますので、老朽化対策も含めた計画的な整備が確実に実施されることが求められます。

■ コストに関する視点

- 消防施設はトータルコストの 8 割強が人件費です。事業内容からも外部委託によるコストダウンは難しいと思われますので、各施設（拠点）の配置や周辺地域との連携などによる合理化の可能性等の検討が求められるものと思われます。